

総務

佐賀市防災会議条例及び佐賀市災害対策本部条例の一部を改正する条例について

〔質問〕男女共同参画の取り組みの中でも、女性の比率について目標を設定し実施しているが、佐賀市防災会議においても女性委員比率の具体的な数値目標を持つて登用していくのか。

〔答弁〕現段階では、女性に委員になってもらう可能性が高いところから順次ふ

経済産業

一般会計補正予算中、過疎地域6次産業化施設整備支援事業について

〔説明〕過疎地域の農業において、生産・加工・販売を一体的に行い、生産物に新たな付加価値を生み出す「6次産業化」の取り組みを支援することにより、新たな特産加工品の創出を通

やしていければと考えており、年次的に女性委員の比率を上げていきたい。

〔意見〕災害時の要援護者の避難などを考えれば、民生委員などの福祉部門代表を佐賀市防災会議の委員に登用する検討をすべき。

一般会計補正予算中、市民活動応援事業162万円について

〔質問〕今年度の投票総数が昨年度に比べて倍以上伸びており、具体的な成果として出ていると感じている

が、その中で今年度の課題をどう整理しているのか。

〔答弁〕①二重投票により無効になってしまふケースが多かったため、投票ルールの徹底などの広報をしっかりと行っていく必要がある②団体の活動内容をよく理解してもらった上で投票してもらえよう

取り組み必要がある③投票の結果、団体が希望する額に達しないケースもまだまだ多いため、より多くの団体が希望額を達成できるよう支援していく必要がある。

〔答弁〕現在使われている機械は開発段階のものであり、

大量生産には対応していない。今後米粉用米の契約面積を拡大して、5年後には年間約30万食を製造する計画であり、それに対応できる施設を整備するものである。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

文教福祉

一般会計補正予算中、競技スポーツ推進事業費及びさが桜マラソン大会負担金(債務負担行為補正)について

〔質問〕主催者が、佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、佐賀市及び神埼市の5者となっているが、事務局はどこに置いて、どこ

が主導していくのか。

〔答弁〕事務局は佐賀新聞社内、同社と県からは、それぞれ3名の専任職員が配置される。市からの専任職員の配置は難しく、嘱託職員の配置を予定しており、対応は異なるが、平等の立場での協議が原則である。

〔意見〕大会運営についてはそれで十分かもしれないが、観光面等における今後の市の展開という観点から、本当に意見を反映できるのか疑問がある。市全体で意

思統一を行い、目的意識を持って取り組んでほしい。

〔意見〕現在の計画では、指宿市の菜の花マラソン等に比べて参加料が高く、多くの参加者を募るといふ観点から疑問がある。また、フルマラソン化するだけでは意味がなく、長期的な視点に立つて特色のある大会とするために、市の関係部署が連携して検討を重ねながら真剣に議論してほしい。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

常任委員会(決算以外の議案審査)

建設環境

一般会計補正予算中、住宅リフォーム緊急助成事業について

〔質問〕事業の今後のスケジュールについて詳しく説明を。

〔答弁〕補正予算が10月4日に議決された場合、10月5日から事業再開の周知を

図り、できれば10月中旬には受付を開始し、受付期間は12月上旬ぐらいまでにしたいと考えている。そして、その期間に受け付けた申請の実績報告については、来年3月31日までに提出を受けることで事業を進めていきたい。

〔質問〕昨年度は、実績報告の提出期限が2月末まで

だったが、今回は3月31日までということではないのか。

〔答弁〕基本的にはそのように考えているが、リフォーム工事が完了せず、予算を翌年度に繰り越す必要がでた場合は、議会と相談しながら対応していきたい。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

議案審議結果一覧

議案番号	議案名	審議結果	
70	平成23年度一般会計歳入歳出決算	賛成多数で認定	
71	平成23年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算		
72	平成23年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定	
73	平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		
74	平成23年度公共下水道特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定	
75	平成23年度特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算		
76	平成23年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算		
77	平成23年度市営浄化槽特別会計歳入歳出決算		
78	平成23年度自動車運送事業会計決算		
79	平成23年度水道事業会計決算		
80	平成23年度工業用水道事業会計決算		
81	平成23年度市立富士大和温泉病院事業会計決算		
82	一般会計補正予算（第3号）	補正額 25億5,981万円	全会一致で可決
83	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	補正額 △268万円	
84	国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	補正額 △68万円	
85	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	補正額 5,775万円	
86	水道事業会計補正予算（第1号）		
87	下水道事業会計補正予算（第1号）		
94	一般会計補正予算（第4号）	補正額 1億8,272万円	
88	佐賀市防災会議条例及び佐賀市災害対策本部条例の一部を改正する条例		全会一致で可決
89	佐賀市市税条例の一部を改正する条例		
90	佐賀中部広域連合規約の変更について		全会一致で可決
91	巨勢小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について	株式会社大洋建設	
92	財産の無償譲渡について	社会福祉法人健寿会	
93	平成23年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		
95	教育委員会委員の任命について	伊東健児 氏	全会一致で同意
96	教育委員会委員の任命について	福島和代 氏	
決議第1号	議場に国旗及び市旗を掲揚する決議案	一括議題	賛成多数で可決
請願受理番号1	日の丸を佐賀市議会議場に掲揚しないよう求める請願書		不採択とみなし議決不要

○すべて10月4日に議決。

全会一致ではなかった議案等の賛否状況

賛成：○ 反対：● 退席：退 欠席：欠

	川原田裕明	堤正之	黒田利和	嘉村弘和	永渕義久	福井章司	亀井雄治	山口弘展	川崎直幸	久米勝博	川副龍之介	実松尊信	重田音彦	重松徹	武藤恭博	平原嘉徳	江頭弘美	福島龍一	山本義昭	中野茂康	原口忠則	松永幹哉	千綿正明	山田誠一郎	西岡義広	本田耕一郎	山下伸二	中本正一	池田正弘	野口保信	野中宣明	田中喜久子	西村嘉宣	松永憲明	山下明子	中山重俊	白倉和子		
第70号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

意見書

「全会一致で可決」

▼自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書案

▼地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書案

▼地方財政の充実・強化を求める意見書案

「賛成少数で否決」

▼玄海原発をはじめとする原発の再稼働をさせないよう求める意見書案

人事

人権擁護委員候補者の推薦について、次のとおり異議なき旨答申した。

▽吉田 良子氏

▽穴見 恵子氏

決議

議場に国旗及び市旗を掲揚する決議

佐賀市は、核廃絶と世界恒久平和を希求して、活発な国際交流を推進し、世界に開かれた都市を目指している。

今後とも、国際社会において、本市が諸外国と交流し、友好を深め、平和を築いていくためには、相互の文化や伝統を尊重することが求められる。

1999年に施行された「国旗及び国歌に関する法律」は、国民はもとより、国際的にも広く認識され定着していた日の丸と君が代に、改めて法的根拠を与えたものである。

また、我々佐賀市議会議員は、郷土を愛し郷土発展のため、市民の代表としての責務を果たす決意を込めて、佐賀市の発展と市民融和の象徴である市旗を尊重するものである。

よって、本市議会は、法律順守の意思を明確に表するため、また郷土を愛する心を涵養するため、議場に国旗及び市旗を掲揚する。

以上、決議する。

平成24年10月4日

佐賀市議会

議場に補聴システムを導入

佐賀市議会では、本会議場内の音声聞き取りにくい方のために、音声をヘッドホン付受信機で受信することにより明瞭に聞くことができるシステムを導入しました。

【利用方法】 傍聴受付で受信機（2台）を貸し出しています。（事前申し込みは不要）



「佐賀市議会認知症サポーター養成研修会」を実施

議員自身が認知症サポーターとなり「市民が安心して生活できる地域づくり」の推進に寄与するため、10月4日の本会議終了後に実施しました。

